

# 令和2年度（2020年度）第4回公立大学法人熊本県立大学理事会 議事録

日時：令和3年（2021年）3月17日（水）午後2時40分～午後2時50分

場所：熊本県立大学 本部棟2階大会議室

出席：

|          |        |
|----------|--------|
| ＜理事＞ 理事長 | 白石 隆   |
| 副理事長（学長） | 半藤 英明  |
| 理事（事務局長） | 斉藤 浩幸  |
| 理事（副学長）  | 堤 裕昭   |
| 理事       | 本松 賢   |
| ＜監事＞ 監事  | 河喜多 保典 |
|          | 本田 悟士  |

＜事務局＞手島事務局次長、三隅教務入試課長、西嶋学生支援課長、丸山総務課長、松永企画調整室長、脇地域連携政策センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、宮本国際教育交流センター事務長、松本監査室長心得、高山総務課総務班長、井総務課財務班長、平井総務課財務班参事、吉田総務課総務班参事、松本企画調整室参事

## 1 開会（進行：事務局次長）

## 2 理事長あいさつ

## 3 議題（議長：白石理事長）

### (1) 審議事項

#### ①令和3年度当初予算（案）について

事務局から、資料1に基づき、令和3年度予算（案）について説明があった。予算は約2,662,904千円になることや、前年度当初予算との比較による増減の主な要因、令和3年度予算の特色は①新型コロナウイルス感染症対策、②令和2年7月豪雨で疲弊した被災地の復興・再生支援、③グローバル化の推進等であることについて説明があり、今後は県知事に年度計画を届け出す予定であることが説明された。

審議の結果、案のとおり承認された。

#### ②役員の給与に関する規則の改正について

事務局から、資料2に基づき、本学事務局長の給与水準について、県の特別職の給与水準との整合を図るため、熊本県特別職（病院事業管理者）と同じ給与水準とする改定を行い、令和3年度より実施するとの説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

### ③令和3年度計画（案）について

事務局から、資料3に基づき、令和3年度計画（案）について策定経緯と今後のスケジュールの説明があり、3月31日までに県へ届け出する予定ということが説明された。3つの重点事項である「国際的な視野と認識を高める教育研究の推進」、「地域との幅広い協働を確立する教育研究の推進」、「社会や時代の状況を踏まえた対応」等に係る主な計画について説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

### ④緑の流域治水の研究について

事務局から、資料4に基づき、県から、本学で緑の流域治水研究を推進されたいとの要請を受け、令和3年4月より共通教育センターに新たに「緑の流域治水研究室」を設置し、水文学等の研究者を招聘して、最先端の緑の流域治水研究に取り組むとの説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

### ⑤熊本県立大学名誉フェロー称号の授与について

事務局から、資料12に基づき、本学の運営及び経営に顕著な貢献があった方や政治、経済、芸術、文化、スポーツ界等の各界において顕著な功績があった方等に名誉フェローの称号を授与し、その功績を称えることとしているが、本法人初代理事長の蓑茂壽太郎氏について、称号授与の推薦があった旨説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

## (2) 報告事項

### ①プロパー事務職員の採用について

事務局から、資料5に基づき、令和3年4月1日付で1名のプロパー事務職員の採用を行う旨報告があった。

### ②教員の採用について

事務局から、資料9に基づき、令和3年4月1日採用付けで3名が採用予定である旨報告があった。

### ③文学部日本語日本文学科長の交代について

事務局から、資料10に基づき、現日本語日本文学科長から学科長辞任の申し出があったことから「熊本県立大学学科長選考規程」の規定に基づき、日本語日本文学科長として鈴木文学部教授を選考し、第15回教育研究会議において承認された旨報告があった。

### ④国際交流ビジョンの見直しについて

事務局から、資料11に基づき、平成18年度に策定した国際交流ビジョンを見直

し、新たに「国際教育・交流ビジョン」及びそのビジョンのもとに優先的に取り組む6項目（国際教育・国際交流に係る戦略的取組み）を作成し、第15回教育研究会議において承認された旨報告があった。

⑤教育の内部質保証に係る改善のための助言、指導の実施について

事務局から、資料13に基づき、内部質保証推進委員会委員長から各学部長及び全学教育推進センター長に対し、文学部と環境共生学部は学習成果を測定する方法について必要な改善を行うこと、全学教育推進センターは教育課程の点検・評価について必要な改善を行うこと、また、各学部においては、学習成果の着実な点検に向け、卒業判定教授会において、GPAや口頭試問の機会等を活用してアセスメントを実施するよう要請したことの報告があった。

⑥「熊本県立大学学生支援に関する方針」の策定について

事務局から、資料14に基づき、大学の理念・目的を実現に向け、修学支援・生活支援・進路支援の3つの項目から成る「熊本県立大学学生支援に関する方針」を策定する旨報告があった。

## 4 その他

- 事務局長から、コロナ禍における学生の就職状況について、今年度においては新型コロナウイルス感染症の影響はそれほどなかったこと、Web面接等への対応に取り組んでいること、懸念されるのは航空や運輸関係等を含む民間企業の動向であること、必要な情報を学生に提供しながら支援していくことの説明があった。
- 来年度の理事会は、下記のとおり開催する予定であることを確認した。
  - ・ 第1回 令和3年（2021年）6月23日（水） 経営会議終了後
  - ・ 第2回 令和3年（2021年）10月20日（水） 経営会議終了後
  - ・ 第3回 令和3年（2021年）12月22日（水） 経営会議終了後
  - ・ 第4回 令和4年（2022年）3月16日（水） 経営会議終了後

## 5 閉会